



No. 5 (10月12日発行)

面接特集号

10月12日(月)より、3年生対象の進学模擬面接指導が開始されました。3年生はしっかり準備して臨みましょう。先生方から直接指導してもらえる貴重な機会を最大限活用して下さい。

「面接」とは 面接の目的は、書類や筆記試験では計ることのできない人物像や能力等を実際に会って見極めることにあります。直接自分を売り込める絶好の機会ですが、短い時間で「自分」という人材を最大限PRしなければなりません。自分のアピールしたいポイントを落ち着いて伝えられるように準備しましょう。

チェックポイント①～面接にはいろいろな形式がある～

過去の面接のレポートなどを読み、どんな形式で面接が実施されているか掴んでおきましょう。

個人面接

面接者が数名いるパターンがもっとも多く行われます。細かい所作にも気を付けましょう。1対1のパターンは圧迫感が少なく、対話のような面接ですが、油断せずに挑みましょう。

集団面接

3～8人程度で実施されます。他者の発言に惑わされず、自分の意見をしっかり伝えましょう。また、他者の発言中も気を抜かず、悠然とした気持ちで待ちましょう。

グループディスカッション

5～10人程度で実施されます。受験生の発表力、リーダーシップ、発想の柔軟性、協調性を見ます。自分の話だけでなく、他者の意見をよく聴き、結論を明快に、手短かに要点をまとめて発言しましょう。

口頭試問

面接室で問題を解かせたり、定理や公式を口頭で説明させたりします。国公立大の理・工・農学系や医療系に多い形式です。質問には的確にわかりやすく答えましょう。

チェックポイント②～面接の評価の観点を理解する～

面接は、漠然と合格・不合格を決めるわけではありません。面接官が手元の「評価シート」に、質問を通して項目ごとに評価をつけています。主な評価の観点は次の4つです。

意欲

志望動機、志望分野についての知識、志望校のアドミッションポリシー、特徴を理解しているかなど。

適性

志望分野への基本的な適性の有無、論理的な思考力・忍耐力など必要な能力の有無。(その能力を過去に発揮した具体例が必要)

社会性

基本的教養、コミュニケーション能力、適切なマナーなど。(普段から他者に配慮する姿勢が大切。日常生活において目上の人には敬語で話す習慣をつける)

人間性

積極性や協調性があるか、向上心があり成長するための努力をしているかなど。

チェックポイント③～「志望理由」は深く掘り下げ、しっかり準備する～

志望理由は質問の中でも、最重要項目です。志望理由から他の質問に展開することも多く、深く掘り下げて考えておく必要があります。また、自分のなかで「当たり前」と感じていても他人には理解しにくいこともあります。他人が聞いて、「なるほど」と納得できる内容にしましょう。

志望理由を深める、「過去→現在→将来」の3ステップを紹介します。

◎志望理由(例)

「看護学を学びたい」

☆過去・・・どうして、この学問を学びたいのか

「この分野を志望したきっかけ」→「そのために高校時代に何をしてきたか」

(例) 幼い頃、ぜんそくで何度か入院した。その時看護師さんに支えられた。また、看護体験で看護職のやりがいを知ることができ、看護師になりたいという気持ちが高まった。

☆現在・・・なぜ、この大学・学部・学科を志望したのか

* ①大学パンフレット・HP ②アドミッションポリシー ③オープンキャンパス などからその大学の特徴をしっかりと理解しておく。

(例) 附属病院や施設を持ち、さまざまな実習授業が受けられるから。また、看護学とあわせて福祉の知識も得ることができるから。

☆将来・・・大学を卒業した後に何をしたいのか

(例) 看護師となり、生まれ育ったこの地域の医療を支える人材になりたい。

⇒矛盾のない一貫性のあるものにしましょう。

チェックポイント④～繰り返し練習！模擬面接で最終仕上げ～

本番の面接を想定した練習を繰り返すことで、人前で話すことに慣れ、面接当日での緊張・焦り・プレッシャーに打ち勝つ力が身につきます。返答内容だけでなく、質問への対応、態度、マナーなどを総合的にチェックしてもらうためにも欠かせません。模擬面接で指摘された改善点をしっかりと受け止め、修正しておくことが大切です。

ここで差がつく！

○目を泳がせない、眉間にしわを寄せない！

⇒泳ぐ目は暗唱している印象にもなりかねません。また質問や指摘に対して眉間にしわを寄せると、不理解、不機嫌な態度を示すことにもなりかねません。

○自分の意見の反対意見を押さえておく！

⇒反対意見を押さえた上で、自らの意見を持つようにしましょう。

○提出書類と面接の回答で矛盾がないように！

⇒記述内容はよく調べておきましょう。

○書類提出後に考えが変わったら面接でそう伝える！

⇒自分でよく調べ、考えたことの証になる。

(参考:旺文社「蛍雪時代」)